

中小企業景気動向調査

(2023年10~12月調査)

vol.182

(2024年1月25日発行)

目次

- 全業種業況概要(業況~設備の状況) 1
- 業種別業況の推移 3
 - 製造業/卸売業/小売業 4
 - 建設業/サービス業/不動産業 5
- 2024年(令和6年)の経営見通し 6

● 調査方法

この調査は中小企業を対象に取引先に出向き、聞きとりしたものです。

● 調査時点

2023年12月初旬

● 調査対象時期

2023年10月~12月実績及び
2024年1月~3月予想

● 調査対象企業の業種別及び有効回答数

	企業数	構成比(%)	有効回答数	回答率(%)
製造業	56	28.0	46	82.1
卸売業	21	10.5	16	76.2
小売業	42	21.0	30	71.4
建設業	32	16.0	26	81.3
サービス業	32	16.0	25	78.1
不動産業	17	8.5	14	82.4
合計	200	100.0	157	78.5

分析方法

D.I (ディフュージョン・インデックス)

A=良い(増加・上昇・過剰)
B=ややA
C=普通(変わらず・適正)
D=ややE
E=悪い(減少・下降・不足)

$$D.I = A \cdot B - D \cdot E$$

この調査の中では傾向を見る方法の一つとしてD.Iを中心として分析したもので、D.IはDiffusion Index(拡張指数)の略です。

企業が景況判断・予想を5段階(A,B,C,D,E)で行います。不変部分(C)を除いて増加(AもしくはB)したとする企業が全体に占める構成比と減少(DもしくはE)したとする企業の構成比のどちらの力が強いかを比べて、時系列的に景気のベクトル(方向線)の傾向を見る方法です。

概況

業況のみ改善し、売上額・収益ともに悪化

金沢信用金庫が行った中小企業157社の景気動向調査(調査回答先:金沢市中心の業務区域内200社・回答率78.5%)の概況は次のとおり。

今期の全産業ベースの業況判断DI(「良い」・「やや良い」-「悪い」・「やや悪い」)の構成比、以下同じ)は2.5(前期△4.2)と6.7ポイント改善した。

業種別では、卸売業が△6.3(前期△6.7)と0.4ポイント、ほか、建設業が23.1(前期7.4)と15.7ポイント、サービス業が12.0(前期△17.9)と29.9ポイント

改善したが、製造業が△2.2(前期0.0)と2.2ポイント、ほか、小売業が△13.3(前期△12.5)と0.8ポイント悪化した。不動産業は7.1(前期7.1)と前期を維持している。全産業ベースでの来期予想DIは△14.0と16.6ポイントの悪化を予想している。

また、全産業ベースの売上額判断DIは3.8(前期10.7)と6.9ポイント悪化、収益判断DIも△7.6(前期△4.2)と3.4ポイント悪化した。来期予想では、売上額判断DIが△15.3と19.1ポイントの悪化、収益判断DIも△18.5と10.8ポイントの悪化を予想している。

今回の調査で経営上の問題点として最も多かった回答は「売上の停滞・減少」(全回答中39.5%)で、以下、「人手不足」(全回答中32.5%)、「原材料高」(全回答中28.0%)であった。また、当面の重点経営施策として最も多かった回答は「経費を節減する」(全回答中47.8%)で、以下、「人材を確保する」(全回答中36.9%)、「販路を広げる」(全回答中35.7%)という結果となった。

(注)2023年7~9月を前期、2023年10~12月を今期、2024年1~3月を来期という。以下同じ。

景況天気図

(この天気図は、景気指標を総合的に判断して作成しました。)

好調 ← ☀️ ☁️ ☔️ → 低調

業種名	時期	2022年(令和4年)				2023年(令和5年)				見通し 2024年(令和6年)
		1月~3月	4月~6月	7月~9月	10月~12月	1月~3月	4月~6月	7月~9月	10月~12月	1月~3月
総合	合	☔️	☔️	☁️	☁️	☔️	☁️	☁️	☁️	☁️
製造業		☔️	☁️	☁️	☁️	☁️	☁️	☁️	☁️	☔️
卸売業		☁️	☁️	☁️	☁️	☁️	☁️	☁️	☁️	☁️
小売業		☔️	☔️	☔️	☔️	☔️	☔️	☁️	☁️	☔️
建設業		☔️	☔️	☁️	☁️	☁️	☁️	☁️	☁️	☁️
サービス業		☔️	☔️	☔️	☁️	☔️	☁️	☔️	☁️	☁️
不動産業		☁️	☁️	☁️	☔️	☔️	☁️	☁️	☁️	☔️

全業種

	2022年(令和4年)				2023年(令和5年)				見通し 2024年(令和6年)
	1月~3月	4月~6月	7月~9月	10月~12月	1月~3月	4月~6月	7月~9月	10月~12月	1月~3月
業況	△32.6	△15.8	△12.5	7.1	△16.6	△0.6	△4.2	2.5	△14.0
売上額	△25.7	3.4	2.8	19.4	△18.8	8.3	10.7	3.8	△15.3
受注残	△14.6	△2.4	△1.2	29.6	△21.0	3.8	2.5	4.2	△19.4
収益	△24.6	△4.5	△8.5	10.6	△21.2	△8.9	△4.2	△7.6	△18.5
販売価格	11.4	22.0	29.0	34.7	27.1	32.5	27.4	28.0	14.0
原材料価格	55.4	70.1	67.0	70.0	57.4	54.4	54.2	42.0	36.9
在庫	3.4	0.7	10.2	△4.3	△2.1	2.8	4.3	9.1	6.1
資金繰り	△16.0	△7.3	△10.2	△11.2	△9.5	△7.1	△8.3	△8.9	△15.3
雇用(人手)	△15.4	△23.2	△30.7	△34.1	△33.9	△33.7	△34.5	△35.0	△30.6
設備状況	△10.6	△10.4	△16.0	△14.7	△13.5	△11.0	△14.3	△15.4	△14.0

設備投資動向

設備投資は、不動産業を除いた143社の動向です。

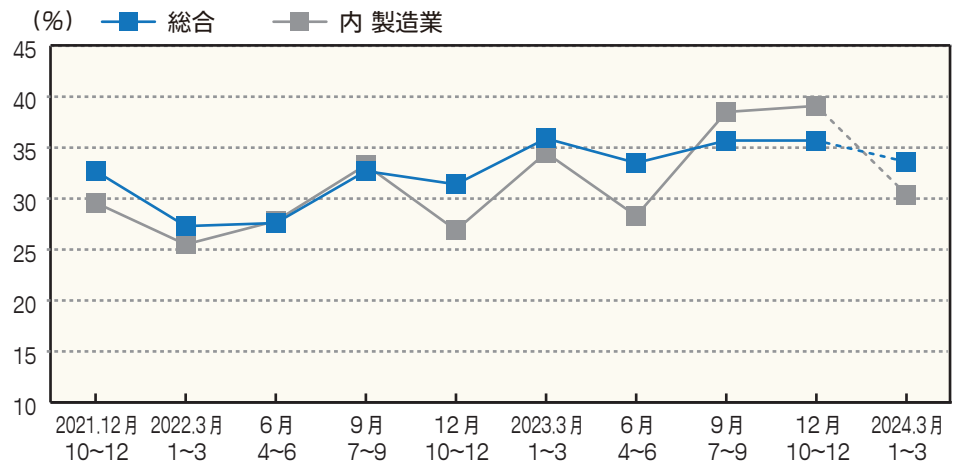
● 10~12月の設備投資実施状況

		有	無
		総合	数 51
	%	35.7	64.3
(内 製造業)	数	18	28
	%	39.1	60.9

(来期見通し)

		有	無
		総合	数 48
	%	33.6	66.4
(内 製造業)	数	14	32
	%	30.4	69.6

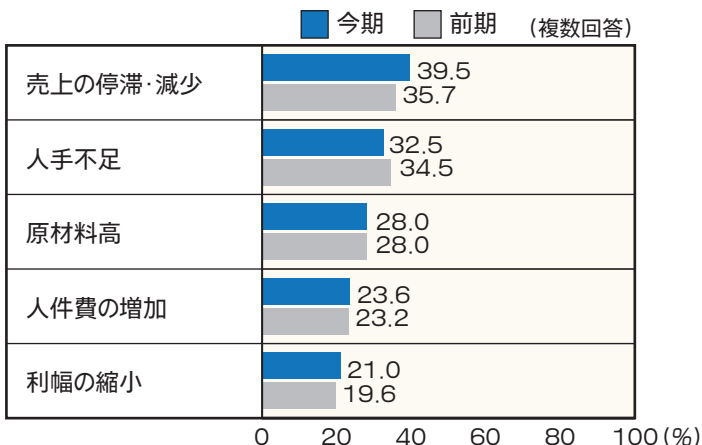
● 設備投資実施(予定)割合



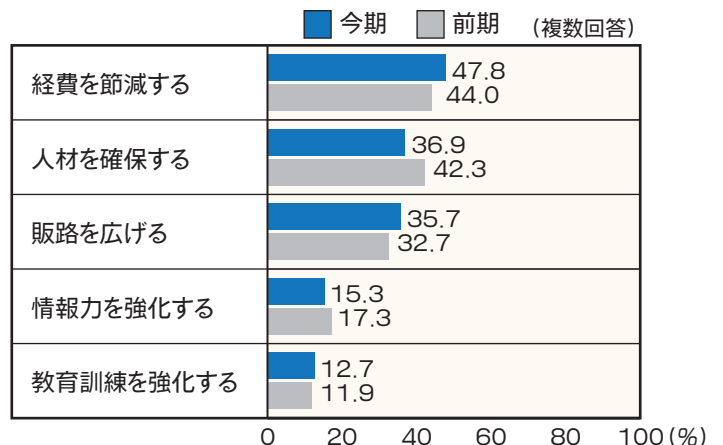
● 10~12月に実施した設備投資の内訳(複数回答)

		事業用 土地・建物	機械・設備の 新增設	機械・設備の 更改	事務機器	車両	その他
		総合	%	3.5	12.6	11.2	4.9
(内 製造業)	%	2.2	13.0	17.4	4.3	15.2	2.2

経営上の問題点



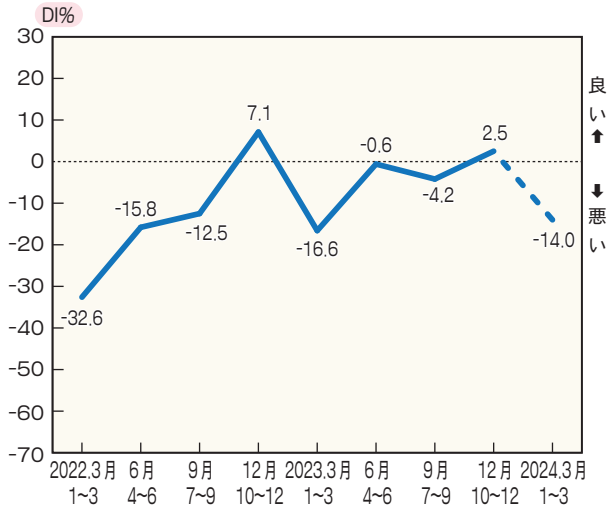
重点経営施策



全業種

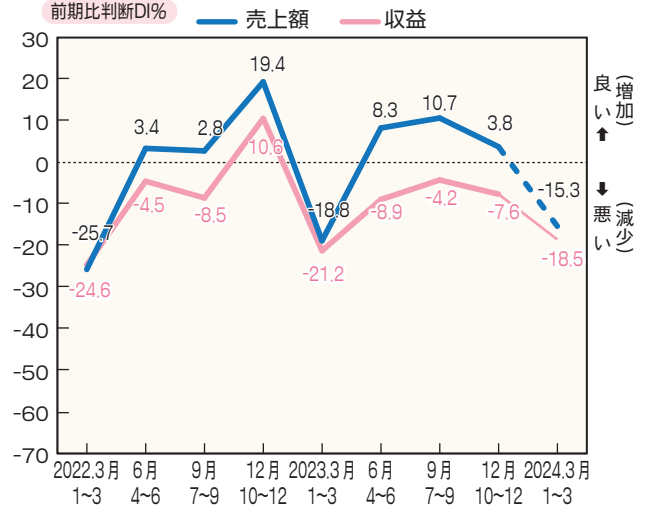
業況

前期から6.7ポイントと改善し、
来期は16.6ポイント悪化すると予想



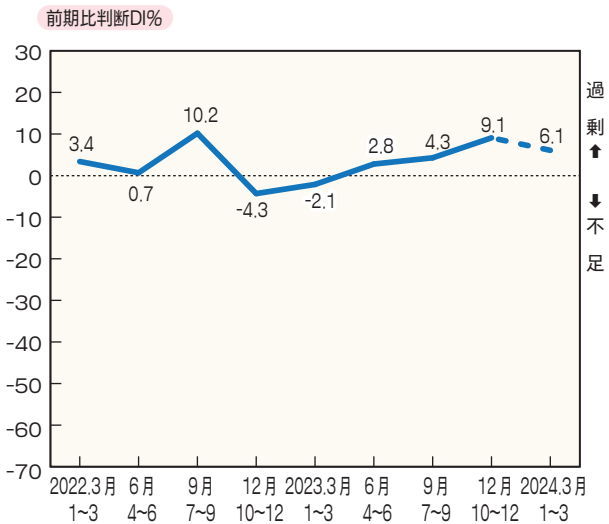
売上額・収益

売上額は6.9ポイントと悪化し、
収益は3.5ポイントと悪化



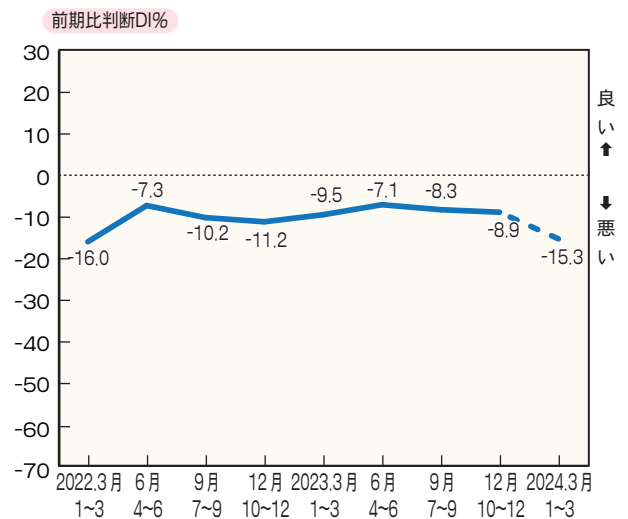
在庫

今期9.1 (前期4.3) と改善



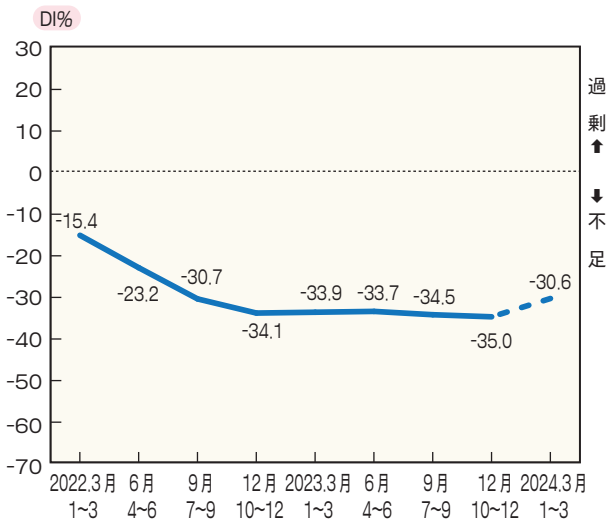
資金繰り

今期△8.9 (前期△8.3) と悪化



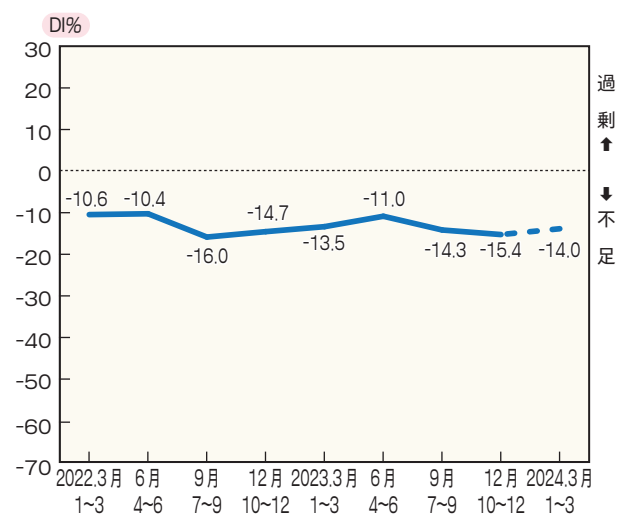
雇用

今期△35.0 (前期△34.5) と悪化



設備の状況

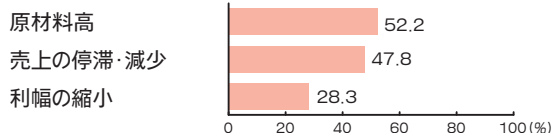
今期△15.4 (前期△14.3) と悪化



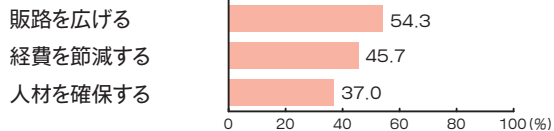
製造業

売上額・収益ともに改善、業況のみ悪化

◆ 経営上の問題点



◆ 重点経営施策



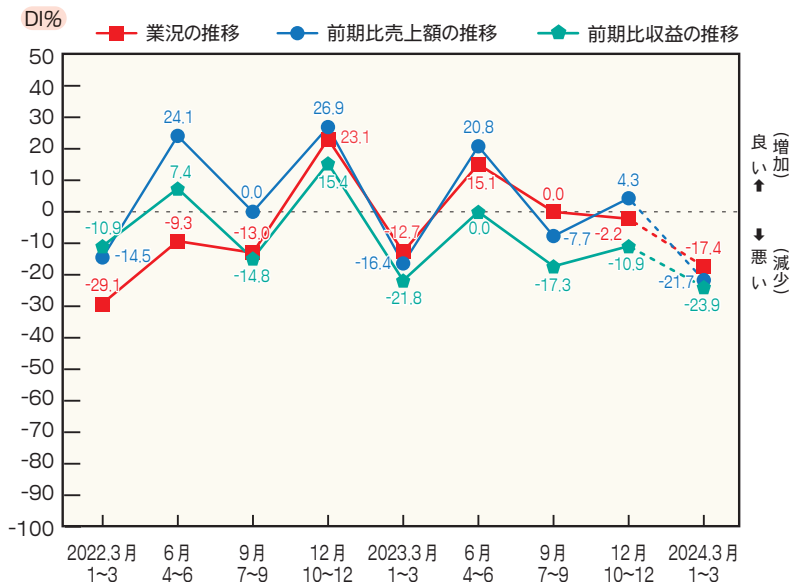
◆ 昨年同時期(2022年10~12月)に比した動き

売上額	2.2
収益	△4.3

◆ 借入金の動き

借入の実施	28.3%
借入の予定	30.4%

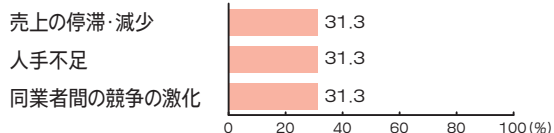
◆ 業況判断D.I・前期比売上額・収益の推移



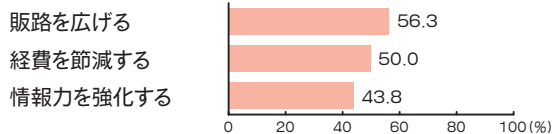
卸売業

業況のみ改善し、売上額・収益ともに悪化

◆ 経営上の問題点



◆ 重点経営施策



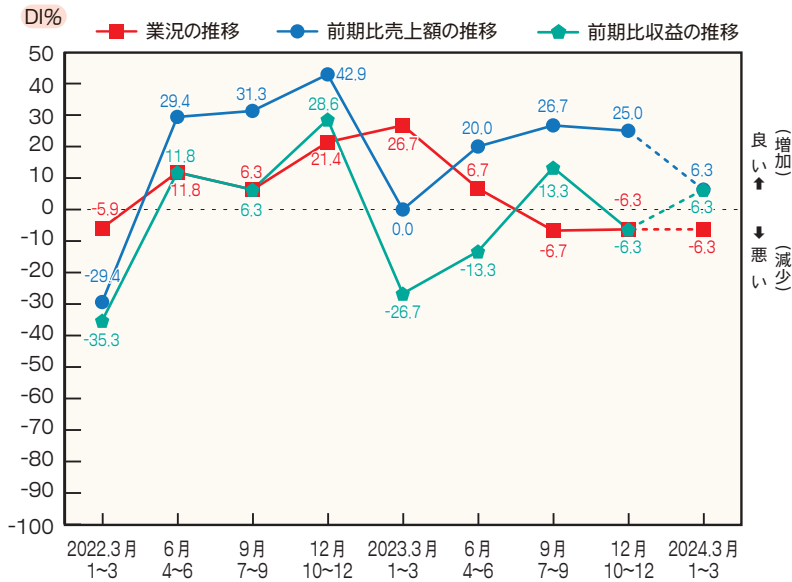
◆ 昨年同時期(2022年10~12月)に比した動き

売上額	△6.3
収益	△12.5
販売価格	37.5

◆ 借入金の動き

借入の実施	25.0%
借入の予定	25.0%

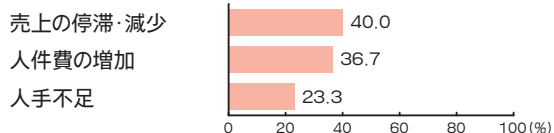
◆ 業況判断D.I・前期比売上額・収益の推移



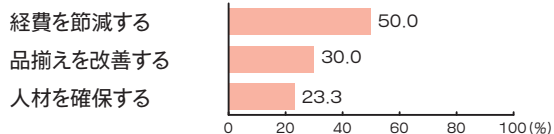
小売業

業況・売上額・収益ともに悪化

◆ 経営上の問題点



◆ 重点経営施策



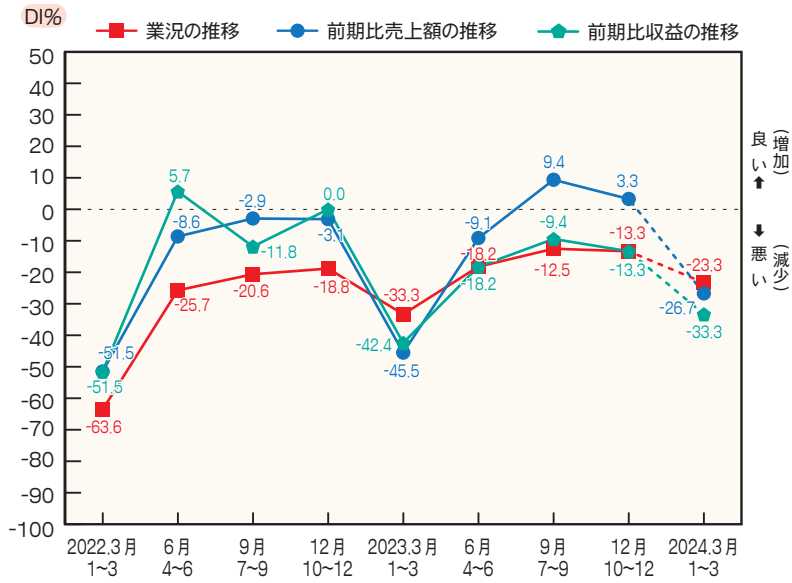
◆ 昨年同時期(2022年10~12月)に比した動き

売上額	3.3
収益	△10.0
販売価格	56.7

◆ 借入金の動き

借入の実施	30.0%
借入の予定	10.0%

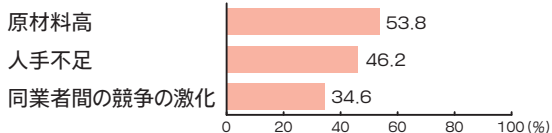
◆ 業況判断D.I・前期比売上額・収益の推移



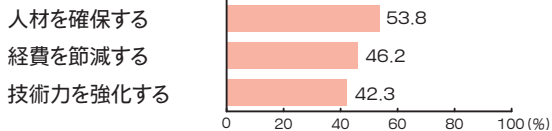
建設業

業況・収益ともに改善し、
売上額のみ悪化

◆ 経営上の問題点



◆ 重点経営施策



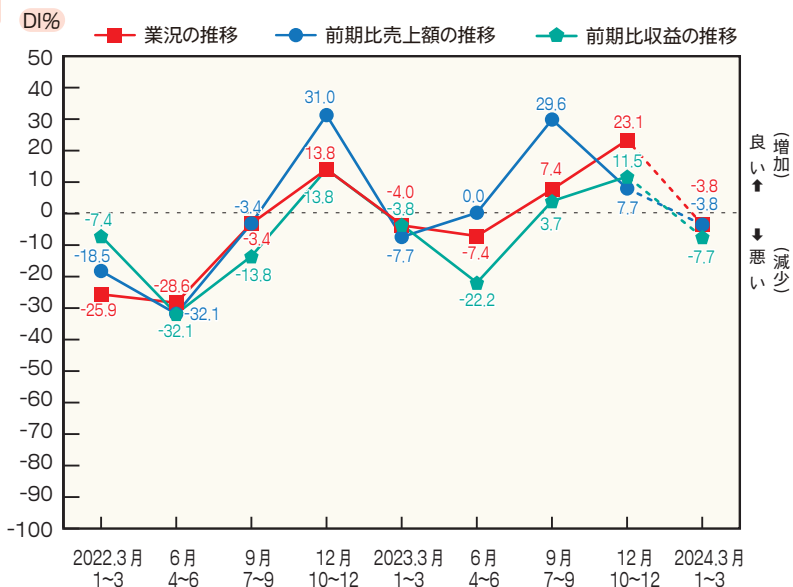
◆ 昨年同時期(2022年7~9月)に比した動き

売上額	△7.7
収益	△11.5

◆ 借入金の動き

借入の実施	23.1%
借入の予定	19.2%

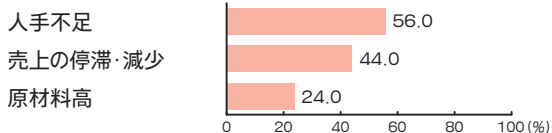
◆ 業況判断D.I・前期比売上額・収益の推移



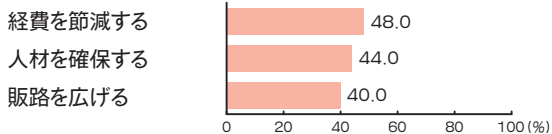
サービス業

業況のみ改善し、
売上額・収益ともに悪化

◆ 経営上の問題点



◆ 重点経営施策



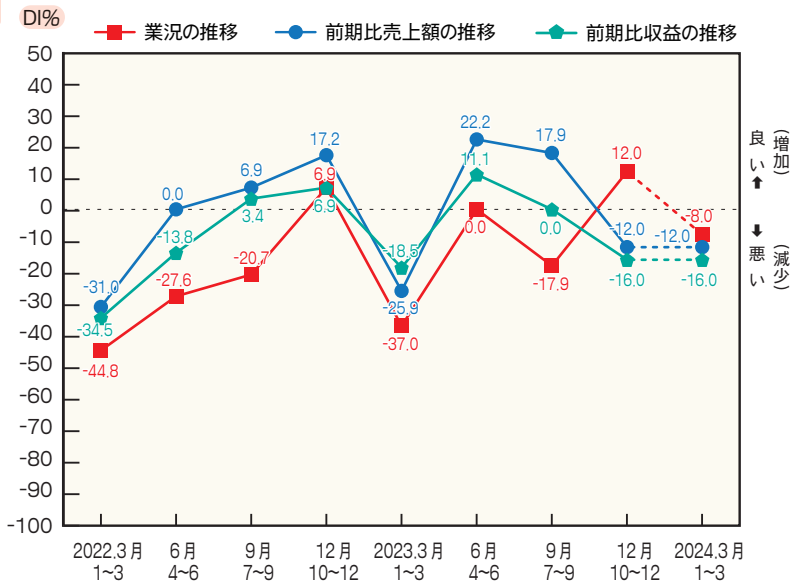
◆ 昨年同時期(2022年7~9月)に比した動き

売上額	4.0
収益	△12.0

◆ 借入金の動き

借入の実施	8.0%
借入の予定	20.0%

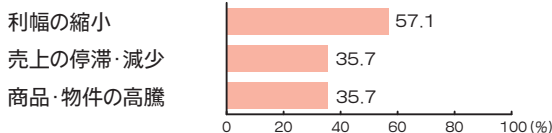
◆ 業況判断D.I・前期比売上額・収益の推移



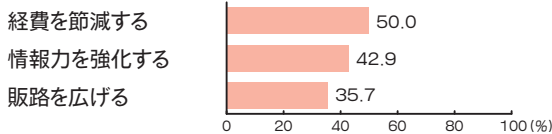
不動産業

売上額・収益ともに悪化し、
業況のみ前期を維持

◆ 経営上の問題点



◆ 重点経営施策



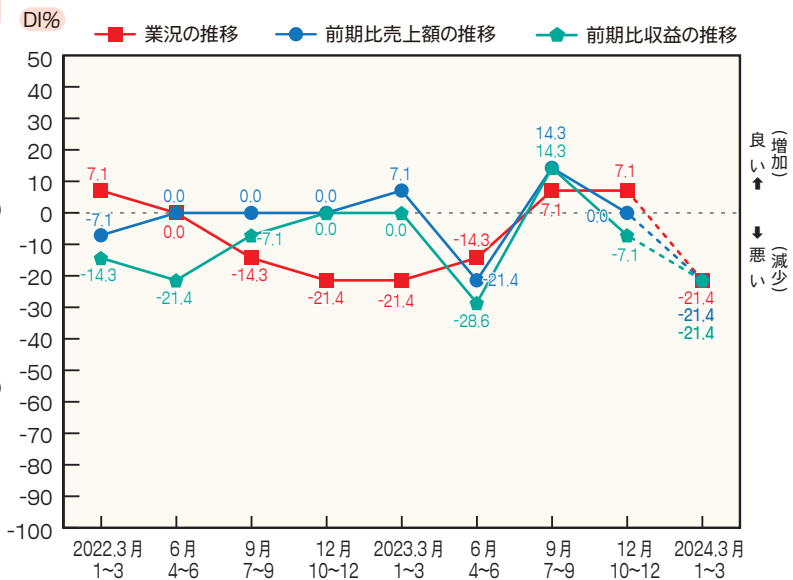
◆ 昨年同時期(2022年7~9月)に比した動き

売上額	△28.6
収益	△35.7

◆ 借入金の動き

借入の実施	42.9%
借入の予定	28.6%

◆ 業況判断D.I・前期比売上額・収益の推移

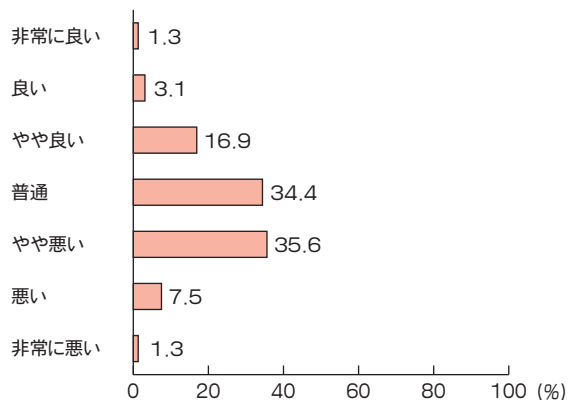




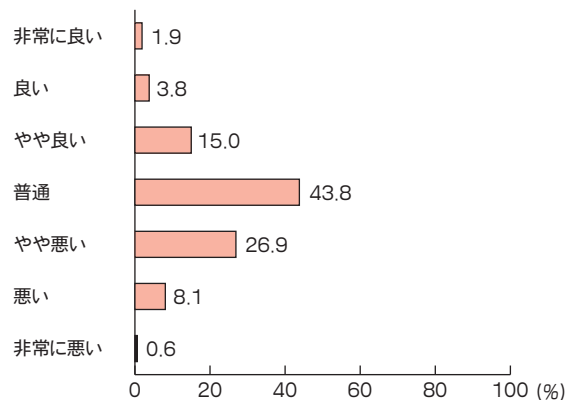
2024年(令和6年)の経営見通し

157社に調査し回答をいただいたものです。

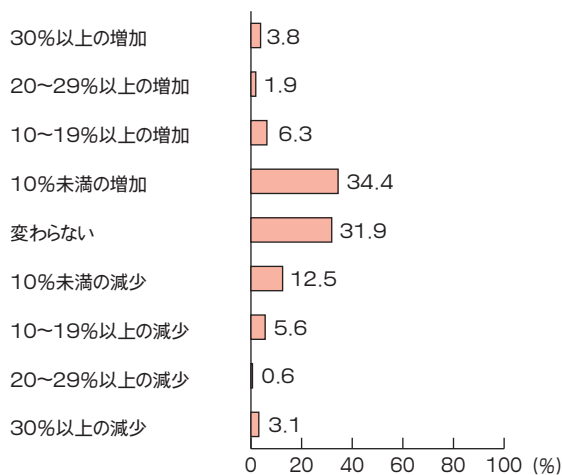
1 2024年における日本の景気の見通しについて当てはまるものをお選びください。



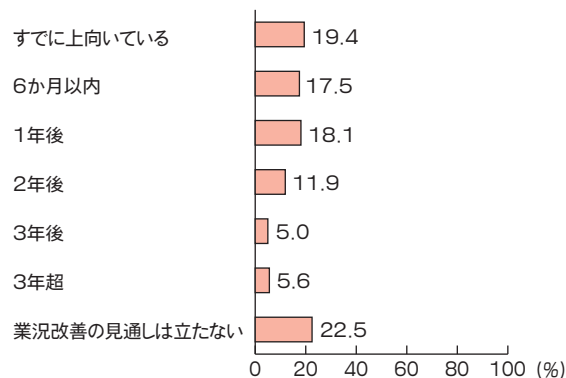
2 2024年における貴社の業況(景気)の見通しについて当てはまるものをお選びください。



3 2024年における貴社の売上額の前年比伸び率の見通しについて当てはまるものをお選びください。

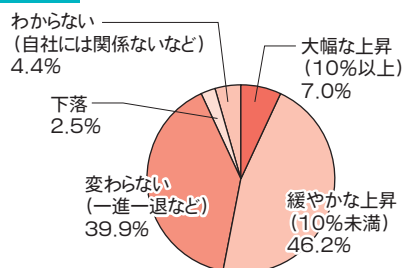


4 貴社の業況が上向く転換点の時期の見通しについて当てはまるものをお選びください。



5 近年の販売価格や仕入価格の上昇を受け、2024年において、貴社では価格面の動向の見通しについて、それぞれ当てはまるものをお選びください。

販売価格



仕入価格

